

いろはにほへと (1960)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 109分

初公開日 1960/05/20

【解説】

橋本忍が脚本を書き文部大臣賞を受賞した同名テレビドラマをもとに、橋本自身が国弘威雄とともに脚色し、中村登がメガホンをとった作品。1953年に実際に起きた保全経済会事件をモデルとしている。

投資経済会は月三分の高配当をうたい、今や二十万人もの加入者から七十億もの出資額を集めていた。警視庁捜査二課の松本刑事は二年にわたり内偵を行っていたが、いまだに事件性を示すような証拠にたどり着いていない。理事長の天野は松本の動きを察知、政界の有力者たちに投資銀行法案の立法化を急ぐよう、運動資金のばらまきを始めた。法案が立法化すれば投資経済会は銀行と同じ扱いを受けられるためだ。しかしニューヨーク株式市場で株が大暴落し、投資経済会は三十億円もの損失を被ってしまう。

【クレジット】

監督 中村登

製作 深沢猛

原作 橋本忍 Shinobu Hashimoto

脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto

国弘威雄

撮影 厚田雄春

美術 芳野尹孝

編集 浜村義康

音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi

出演 佐田啓二

宮口精二

殿山泰司

三井弘次

織田政雄

伊藤雄之助

浦辺条子

城山順子

藤間紫